

令和3年度 岩手公務員・医療・ビジネス専門学校 自己点検・評価報告書（抜粋）

評価基準： 5. 完璧 4. 優れている 3. 普通 2. やや劣っている 1. 劣っている

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

- 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか 評価 5
理念・目的及び育成人材像については、学校法人コアトレース法人本部から示された「運営指針」及び「運営指針（図解）」に明確に定められており、学則にも明記され学校案内などにも反映している。
- 1-2 学校の特色はなにか 評価 5
『心の教育』が最大の特色である。また、少人数制の特徴を活かし、生徒一人ひとりの心に寄り添った思いやりあふれるきめ細かな指導が特色である。また今年度も、公務員・医療系及びビジネス系への幅広い業種へ卒業生を輩出した。専門科目に加え、多分野にわたって対応できる共通科目を複合したカリキュラムにより、深い学びを実現させた。
- 1-3 学校の将来構想を抱いているか 評価 4
変更した教育課程を実行し、教育内容の更なる充実を図った。また、『学園(学校)の次世代への継承』のため、本校の維持・存続・発展のため、構想を千思万考している。

基準2 学校運営

- 2-4 運営方針は定められているか 評価 5
運営方針は、学園の運営指針・事業計画に則り、定められている。課題・問題点等が判明した場合には学園及び学校全体で協議の上改善に努めている。
- 2-5 事業計画は定められているか 評価 5
事業計画は、前年度末の理事会・評議員会に附され決定を見ている。事業計画に沿って学園及び学校の教育活動を展開した。事業については、概ね事業計画のとおり執行された。
- 2-6 運営組織は、機能的に整備されているか 評価 5
運営組織は、「寄附行為」及び「職制及び業務分掌規則」「校務分掌」等に明確に定められ、機能的に整備されており、現在のところ大きな問題は生じていない。運営に関わる業務の効率化に向け、見直すべき点があった場合には、修正を図っていききたい。

基準3 教育活動

- 3-7 教育目標、育成人材像は、明確に定められているか 評価 5
教育目標、育成人材像については、明確に定められている。基準1でも示したとおり、法人本部から示された「運営指針」及び「運営指針図解」に則り学則にも明記され、学校案内などに反映している。
- 3-8 カリキュラムの編成方針は、教育方針に則っているか 評価 5
カリキュラムの編成方針は、教育方針に則って体系的に編成されており問題はない。公務員系コースは、「効果的な公務員試験対策に加え、卒業後を見据えた資格試験の取得」に主眼をおいたカリキュラムとなっており、医療系コースは、「厳選した検定試験を取得し長く社会で活躍し続ける」ための有効的なカリキュラムを設定している。
- 3-9 カリキュラムは体系的に編成されているか 評価 5
カリキュラムは、教育基本法及び学校教育法の規定等を遵守し、学則に定める目的を達成するために体系的に編成されている。また定期的に見直しも行われている。
- 3-10 カリキュラムの実施・評価体制はあるか 評価 5
カリキュラムの実施・評価体制は、校長・副校長及び教務主任が中心に検証をしている。評価の結果教育課程改編に反映している。今後も評価・検証を重ね、より充実した教育課程を構築していきたい。
- 3-11 授業評価の実施・評価体制はあるか 評価 5
教員間において互いの授業を評価することで、教育力向上を図っている。また、生徒アンケートを実施し、生徒からの授業評価を真摯に受け止め、次年度以降の授業へ反映させるよう努めている。
- 3-13 教員の専門性は確保されているか 評価 5
設置基準を満たす教員及び講師の専門性は全て確保している。また、教育力向上のため、恒常的に専門性を高めるよう研鑽している。
- 3-14 教員の資質向上はなされているか 評価 4
各教員が指導力の熟練を図るための研究に励んでいる。また、教務処理の連携力を高め、資質向上に努めた。さらに学園内教員研修会を通して、各教員の資質向上を図っている。更に、外部研修会への参加等により、向上の機会を増やしていきたい。
- 3-15 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 評価 5
成績評価・単位認定の基準は、学則・学校便覧等に明確に記載されており全く問題はない。また、年数回のガイダンスにより、生徒への評価基準等の周知を行っている。
- 3-16 資格取得に向けての取組みは確立されているか 評価 4
資格取得に向けての取組みは、確立されている。学校案内等にも明記されており成果を挙げている。

学校便覧にも指導計画を明記し、生徒への周知の徹底を図っている。今後は、更に生徒の目的意識を高め、一層の合格率向上を目標としている。

基準4 教育成果

- 4-18 就職率の向上が図られているか 評価 4
教育課程と同様、生活・進路指導に関わる教育内容も年々充実させている。就職率向上に向けての取組みを強化し、個人面談や保護者との三者面談などを通して、1人ひとりの希望に沿った就職指導を実施している。生徒を取り巻く環境は依然厳しい上に生徒の進路希望も多様化しているが、これまで以上の実績を挙げるため、更なる就職指導の強化を図っていききたい。
- 4-19 資格取得の向上が図られているか 評価 4
資格取得に関しては、生徒全員が目標資格を取得できるよう担任・教科担当者を中心に全教員が取り組んでいる。令和3年度は一部の検定において、合格率に若干の上昇が見られた。今後、生徒意識の向上と教員の指導力を挙げることで対応していききたい。
- 4-20 退学率の低減が図られているか 評価 4
令和3年度は、目的の差異や家庭の事情による退学者が出た。定期・不定期に行う個人面談や学生支援センター等を活かした生徒へのフォローにより、退学者の低減に努めている。

基準5 生徒支援

- 5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか 評価 5
就職指導に関しては、生徒への支援体制がしっかりと整備されている。公務員への就職を第一希望としている生徒に対してはまずは公務員試験対策を行い、その結果を見て第二段階として民間就職の指導に切り替えている。民間への就職を第一希望とする生徒に対しては、出願時期を確認しながら対策体制を整えるよう努めている。学生支援センターを中心に、試験や求人情報を管理しており、次年度は更に充実した就職・進学指導を図る。
- 5-23 生徒相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか 評価 5
日々の教育活動の中で担任が個別の状況を把握し、教員間で情報共有した。また、問題が発生した際には保護者への連絡を行い、家庭と連携することにより対応した。
- 5-24 生徒の経済的側面に関する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか 評価 5
本学独自の奨学金を制定するなど生徒の経済的支援に努めているが、経済的に支援を要する生徒の増加が予想される。また、今年度も「高等教育修学支援制度」の対象校として認定され、生徒の学習意欲を応援する体制を整備している。今後はさらに厳しい状況に陥ると思料されるため、公的奨学金の利用はもとより、生徒個々の状況に対応ができるよう、奨学金制度の見直し、特待制度の新設等を幅広い視野で検討していききたい。
- 5-25 生徒の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか 評価 5
健康管理体制については、ほぼ確立されており、問題は生じていない。令和3年度は感染症対策を更に強化し、環境整備及び生徒個々の対策指導の徹底を行った。
- 5-28 保護者と適切に連携しているか 評価 4
入学式後オリエンテーション資料や成績評価資料の送付、三者面談、を実施し、担任・保護者間の連絡を密にすることにより、保護者からの理解はほぼ得られていると思料される。進路に関わる意思確認等、不定期の三者面談の機会もしばしば設けた。学校生活から就職に至るまで、指導過程を迅速・詳細に提供できるよう体制を整備していききたい。
- 5-29 卒業生への支援体制はあるか 評価 4
卒業生に対する支援は、卒業後離職者の就職を中心に対応していく。また、卒業時に正社員として就職先が決定しない卒業生がいた場合、卒業後も就職が決定するまで就職支援制度を設けている。

基準6 教育環境

- 6-30 施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか 評価 4
施設・設備については、十分に整備されている。図書室や自習室、トレーニングスペース等生徒本人が目的を持って安全に活用できる体制を整えている。時勢に対応して順次更新していききたい。
- 6-31 学外実習、インターンシップ、海外(国内)研修等について十分な教育体制を整備しているか . . . 評価 4
本格的な試験準備に先駆けて、基本事項の学習が完了した6月に、校内での集中講座を実施した。日常と異なる体制で各自の実力と向き合うことで、それぞれの明確な目標設定を目的としている。医療系コースにおいては、実施前の行動規制や体調管理等感染症対策を徹底した上で実現し、医療現場での職務意識や実際の業務を体験する機会となった。県外研修等は、感染症のため見送った。
- 6-32 防災に対する整備はされているか 評価 5
防災に関しては、「防火管理規定」「消防組織及び分掌表」等の規定ならびに「危機管理マニュアル」を設け、自衛消防訓練を実施し対応している。適宜、防災体制を見直し整備していききたい。

基準7 生徒募集と受入

- 7-33 生徒募集活動は、適正に行われているか 評価 4
生徒募集活動は、本学基本理念のキーワードである「高潔」に則り、誇大広告・宣伝等を一切することなく一般社会の常識に沿って公正・公平に情報を提供し、公明正大な募集活動を展開している。

少子化、多数の競合校、高卒求人数の増加等々の影響により、年々入学者の確保が厳しいが、広報担当者と教職員全員の連携を深め、真摯な募集活動を展開していきたい。外部セミナー並びにオープンキャンパスの充実、高校訪問やSNSの活用などあらゆる面での強化が必要となっている。特にホームページやSNSは、非常に大きな情報取得手段であることを踏まえ、タイムリーで正確な情報の提供を心掛けている。今後は更に、担当・時期・内容を明確にし、有益であり募集結果に繋がる情報を提供できるよう、仕組みを充実化させる。引き続き、地域貢献や教育力の向上と併せて学校の特色と魅力をPRし、適正な生徒募集を行っていききたい。

7-34 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか 評価 5

志望者等の問い合わせや相談には、教職員全員が懇切丁寧に対応している。今後も、相談者に不快な思いを抱かせることの無いよう、「心をこめた対応」に努めていきたい。

7-35 就職・資格取得実績等の教育成果は正確に伝えられているか 評価 5

就職・資格取得実績等の教育成果は、過去から直近のデータを基に正確に伝えている。今後は、情報提供の内容をさらに吟味し発信媒体についても検討を深め、多様な媒体の導入も考えていきたい。

7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか 評価 5

入学選考は、厳正に実施し適正かつ公平な基準に基づき行われている。さらに良い選考を行うため、入学試験内容の点検を重ね、より公正な基準の下で可否を判定できるよう適宜見直していきたい。

基準 8 財務

8-38 予算は計画に従って妥当に執行されているか 評価 5

年度予算は、教育現場からヒアリングを行った上で立案され、理事会・評議員会の承認を受けている。予算は、一部の科目において予算外支出があり、項目変更等の補正予算が組まれるものの、事業計画に則り、適正に執行されている。

8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか 評価 5

学校の財務に関しては、教職員全員が質素を旨とし、ムリ・ムダ・ムラを省くなど、個々が出来る事を常に模索しながら、経営安定化を図るための努力を行っている。監査体制が機能しており、年3～5回実施される監査法人、内部監事による監査も適正に行われている。監査法人からは、若干の「勘定科目の変更」等を指摘される程度で、「適正に処理されている」旨の報告を受けている。

基準 9 法令等の遵守

9-40 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 評価 5

法令、設置基準等の遵守については、教育基本法及び学校教育法等の関係法令を遵守し、総じて適正な運営がなされている。また、「本学園設立の目的」にも明記されており、日頃から管理職を中心に呼びかけを行い、教職員の遵守に対する意識もかなり高いと思料する。今後も研修会等を重ね、研鑽を深め高い意識レベルを堅持したい。

9-41 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 評価 5

個人情報に関しては、生徒ひとり一人の尊厳を重視し、書面にて保護を誓約しており、厳重にかつ慎重に取り扱うよう、教職員全員に周知徹底を図っている。「個人情報の保護に関する規定」も整備されており、重要書類の管理は金庫で行い、書類の廃棄はシュレッダーを活用し注意を払っている。

9-42 自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか 評価 5

自己点検・自己評価については年度末に点検・評価を実施し、新年度に向けて課題等を整理・改善し、問題点は改善し教育力の向上に役立てている。

基準 10 社会貢献

10-44 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか 評価 4

本校内及び高校内や各会場において実施している、「現役合格プロジェクト」としての公務員試験対策講座は、高校生の現役合格に向けて無料で実施している。しかし、その他の教育資源や施設活用での有効度は十分とは言えず、今後、地域に密着した社会貢献活動を検討していきたい。

10-47 生徒のボランティア活動の状況を把握しているか 評価 5

ボランティア活動においては、教員の付き添いまたは参加した生徒からの報告を徹底することにより、ボランティア活動の状況はしっかりと把握している。令和4年度も積極的なボランティア活動を行うことにより、継続的に社会貢献の役割を果たしていきたい。